

具体的な解決策を、安全な道のために何が求められるか

国道153号を中心に道路整備を考えるワークショップが第3回、第4回を終えました。第1回は道路に必要な事、第2回では問題点とその要因について話し合ってきました。第3回、第4回は『どのような道路にするか、地域としてどのように整備するかを考える』をテーマに2回にわたって行われました。

道路に必要な事、問題点や原因を考慮に入れて、具体的な整備方針と整備の順番について話し合いました。参加者からは歩道の改良や交差点の右折レーンの拡幅、幹線道路の新設など様々な方針が出されました。辰野町の地図に整備方針を書き込んでゆくと問題点が集中する箇所、早期の整備が期待される場所がはっきりと図になって表れました。

ワークショップの様子と出された整備方針について掲載します。

第3回ワークショップの報告

WSの経過

第3回目のワークショップでは、テーマを『どのような道路にするか考える』とし、国道153号の道路問題の解決に向けどのような整備が必要で、どのような順番で整備を進めれば効果的か、具体策について話し合いました。冒頭には道路事業の進め方について伊那建設事務所からの説明があり、羽北地区の道路懇談会に参加した浦野さんが羽北地区道路懇談会の様子の発表がありました。

第2回のテーマの国道153号における問題点を解決するためには、具体的にどのような解決策がよいか考え辰野町の地図上に示していきました。危険な箇所や渋滞の発生する箇所など、問題がある場所それぞれについて解決策を考えてゆきました。

この解決案をもとに第4回のワークショップは行われました。



第4回 ワークショップの報告

WSの経過

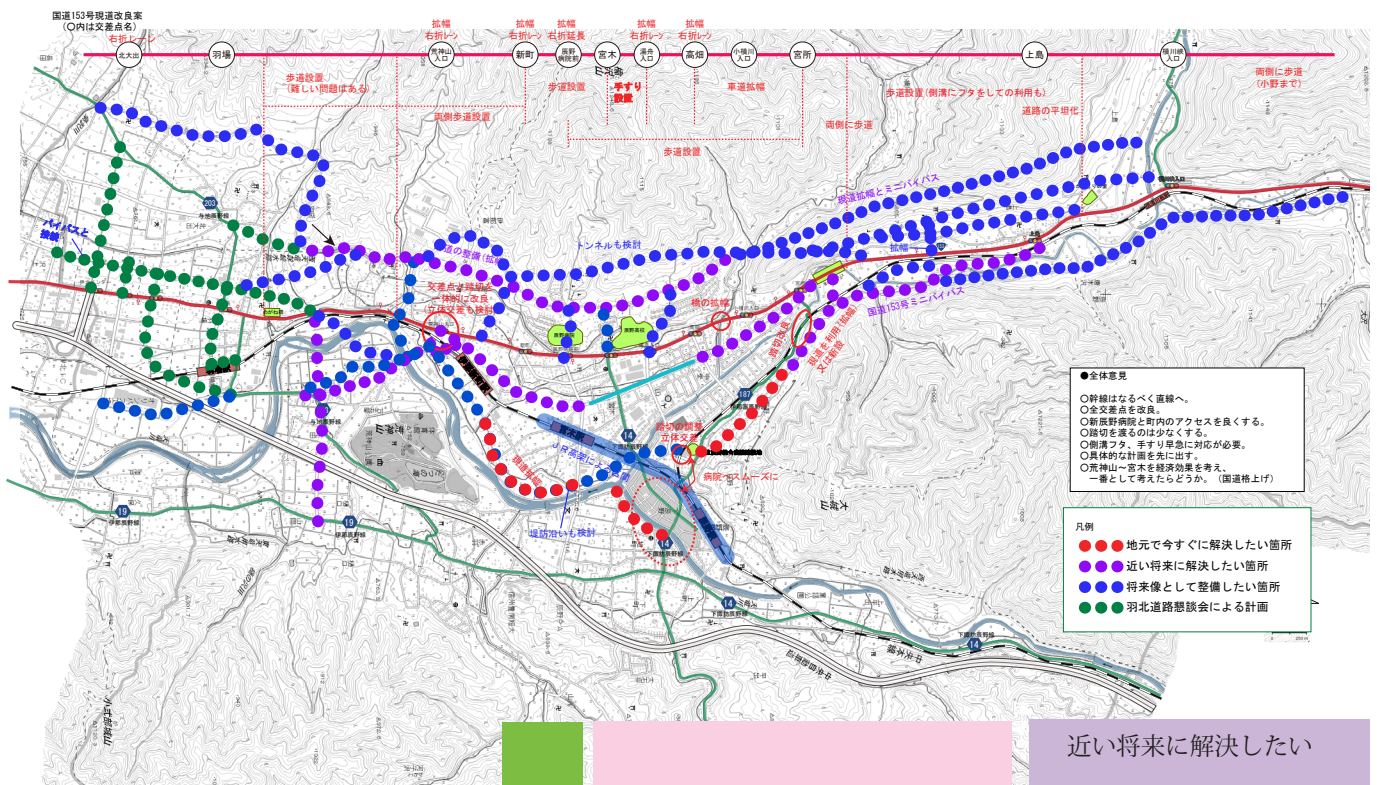
第4回は前回のワークショップで出し合った解決案を進め、整備の順番について考えました。今すぐに解決したい箇所、近い将来に解決したい箇所、将来像として整備したい箇所の3種類に分け解決策の優先度をつけて地図に書き込んでいきました。

今すぐに解決したい箇所として国道153号の特に道幅の狭い小横川入口部分、歩道のない部分、渋滞の多い交差点があげられました。また将来的な整備方針として国道153号のバイパスを求める案も多く出されました。

他に荒神山から宮木までの道路を国道に格上げするという経済効果が期待される案も出されました。



第4回ワークショップの成果



全体意見

- 幹線はなるべく直線に
- 全交差点を改良
- 新辰野病院と町内のアクセスを良くする
- 踏切を渡るのは少なくする
- 側溝フタ、手すりは早急に対応が必要
- 具体的な計画を先に出す
- 荒神山～宮木を経済効果を考え、一番として考えたらどうか

地域で考える整備の優先順位

地元で今すぐに解決したい

- 国道153号現道拡幅
 - ・羽場～新町
 - ・湯舟入口～宮所
 - ・宮所～徳本水
- 国道153号歩道設置・拡幅
 - ・新町～徳本水
- 国道153号交差点改良
 - ・新町交差点
 - ・湯舟入口交差点
 - ・宮所交差点
 - ・荒神山入口交差点
- 道路新設
 - ・荒神山～徳本水
- 堤防道路の活用
 - ・堤防沿いの町道を整備し活用

近い将来に解決したい

- 国道153号歩道設置
 - ・かたくりの里付近
 - ・宮所～上島
- 踏切改良
 - ・宮所踏切
- 道路新設
 - ・新病院～徳本水 BP
- 西側の農道の活用
 - ・農道を整備し、幹線道路として利用

将来像として整備したい

- 交差点改良、信号機
 - ・153号全線
- 153号現道改良
 - ・徳本水 BP～中道線
- 153号バイパスの新設